

日光ハコモノがたり
シーズン2

日光市の公共施設の 未来を考えよう

～マンガでわかる “日光市公共施設マネジメント計画” 概要～



台風一過のある日
市立いろは中学校放課後



それで元氣、
怪談の続き
どうなった
んだよ…?

ああ、それが
誰もいない
教室なのにな…

栗原 元氣



ってなんだ
雨漏りかよ…!

急にかい
出しゃがって…!

ぎゃあああ
!!!!



ペタ…

ペタ…

びしょ
ペタ…
つて…



いたいた!
元氣くんったら
いつまで掃除
してるつもり!?

今野 未来

足川先生も
もう部室に
来てるって
いうのに…

まさか今日の
新聞部の
ミーティング
忘れてたり
しないよね!?

未来ちゃん!



副部長なのに
頼りない
んだから!
もうっ!



しっかし
いつ建て替えて
くれるん
だろうな?

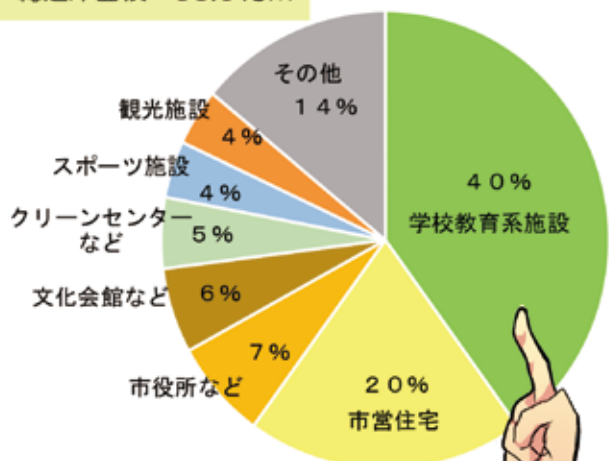
キレイな校舎で
勉強すれば
やる気だつて
出てくるのによ



市民1人あたりの施設の保有量は全国平均の約1.8倍

図1：保有施設の用途内訳

総延床面積：53.6万㎡



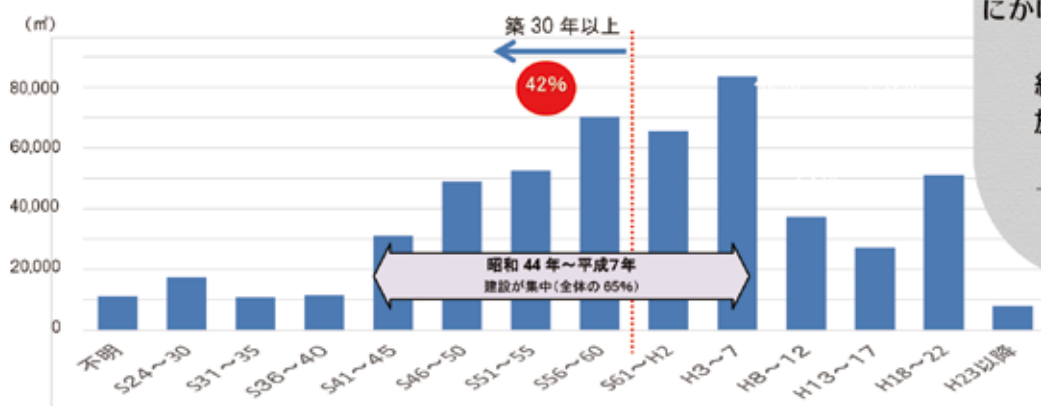
公共施設の使われ方で
その用途を分類すると、
40%が学校で、
20%が市営住宅なんだよ。

(まずは、公共施設がどれ位あるか)
日光市が保有する公共施設の延床面積は
53.6万㎡(平成25年度末現在)で、
これは市民1人当たりの施設の保有量に
換算すると6.08㎡で、
全国平均3.42㎡の約1.8倍になるんだ。

2市2町1村が合併してできた
日光市は、旧市町村が持っていた
たくさんの公共施設をそのまま
引き継いでいるし、市の面積
も広いから、今多いのは
仕方ないことなんだよね。

築30年以上の建物が42% 老朽化が進む施設をたくさん抱えている

図1：日光市の保有施設整備状況(平成25年度末)



施設の多くは、昭和44年から
平成7年の高度成長期からバブル期
にかけて集中して建てられているんだ。
建てられてから、30年以上
経過している施設が多いから、
施設の老朽化に対応するための
大規模改修や建替え等が直近
で集中することになるんだよ。

インフラ資産も老朽化が進んでいます

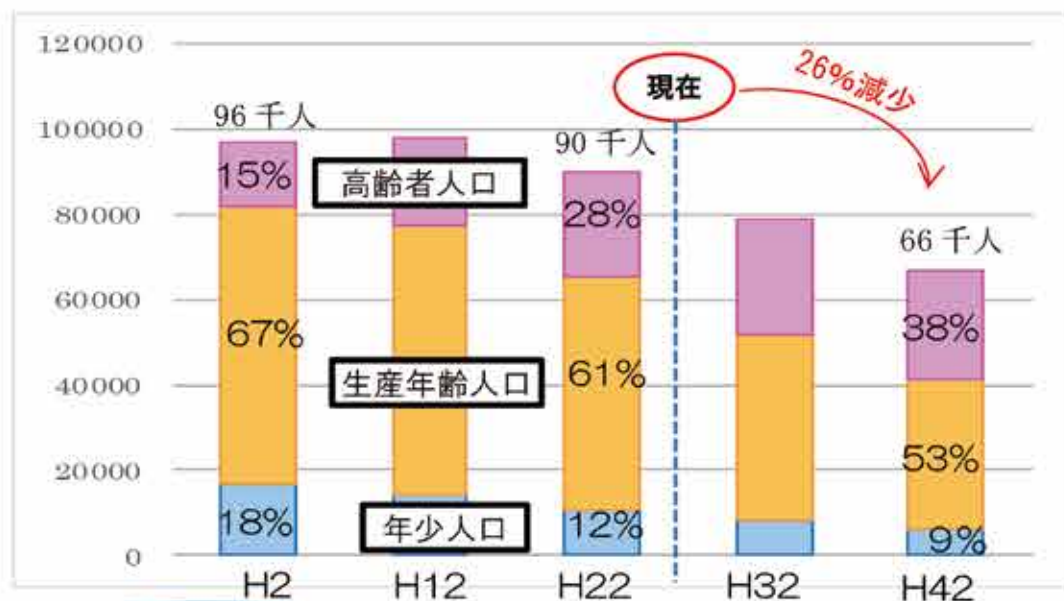
市が保有するインフラ資産(道路、橋りょう、上水道、下水道、公園)も、
公共施設と同様、昭和50年代を中心に整備されていて、
老朽化等が進んでいるから、これから維持・更新の対応が必要なんだ。

インフラの老朽化は、笹子トンネル天井板崩落事故のような生命に
係わる大きな事故に繋がりがかねないから、事故がないように
管理していかななくてはならないんだよ。

今度は公共施設の維持更新や施設の運営を支える、
お金の状況や、市の人々の状況を見てみよう！

人口が急激に減少し、少子高齢化も進みます

図3：日光市の人口推移及び将来予測



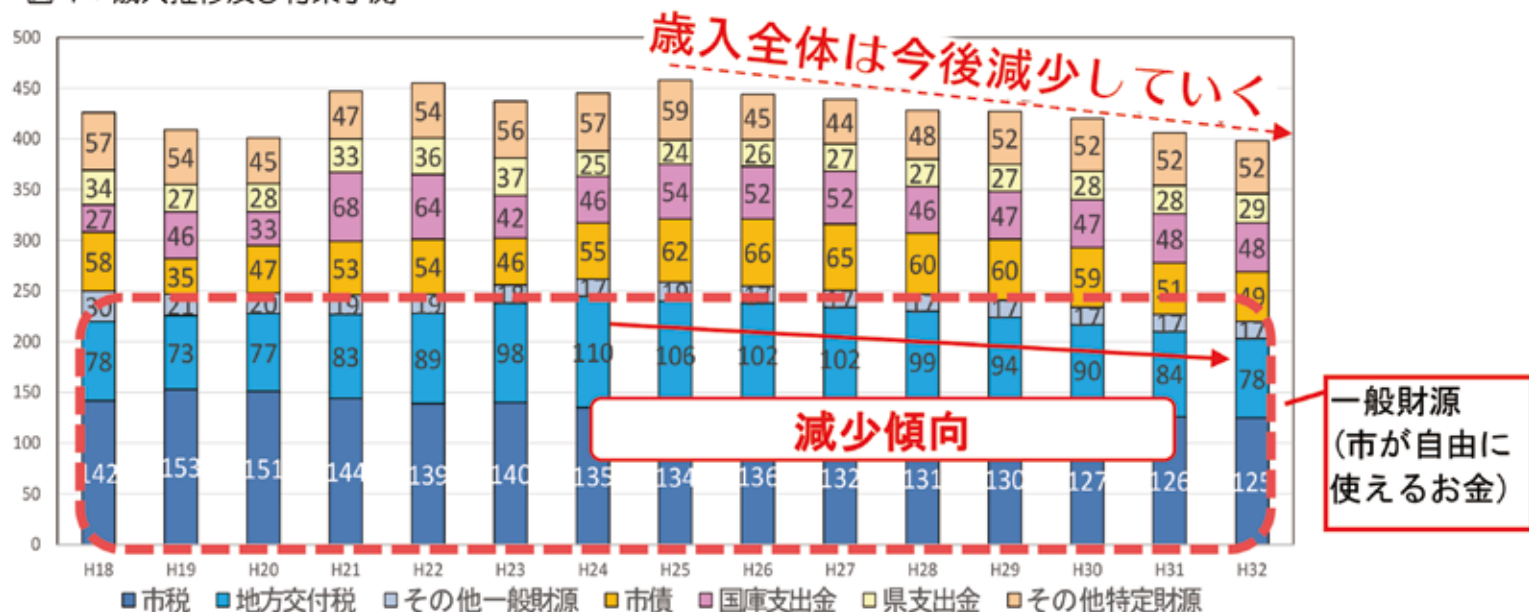
日光市の人口は
年々減少していて、
平成42年には6万6千人になると
予測されているんだ。

過去20年の減り方に
比べて、急激に人口減少が
進むことや、
生産年齢人口（15歳～64歳）
の割合が減り、逆に
高齢者人口の割合が
増えることが
予測されている。

生産年齢人口（働く世代）の減少は、税収の減少にも
つながるし、少子高齢化が進むと、扶助費（医療・福祉等費用）
の支出割合が増加するってことなんだ。

お金の見通し

図4：歳入推移及び将来予測



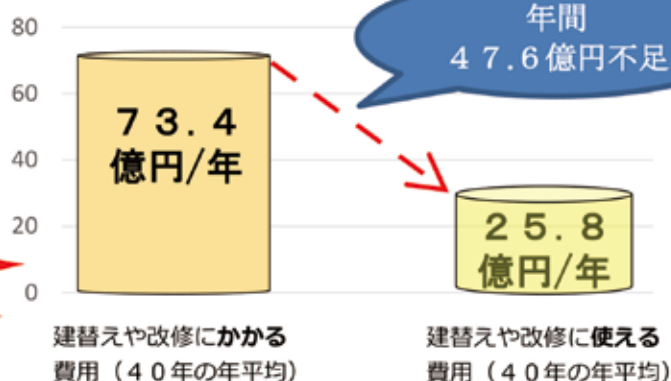
人口減少等による税収の減収等、今後増える見込みのない収入に対して、少子高齢化による扶助費の増加が想定されるから、公共施設老朽化への対応に使えるお金が限られてくるという状況なんだ。



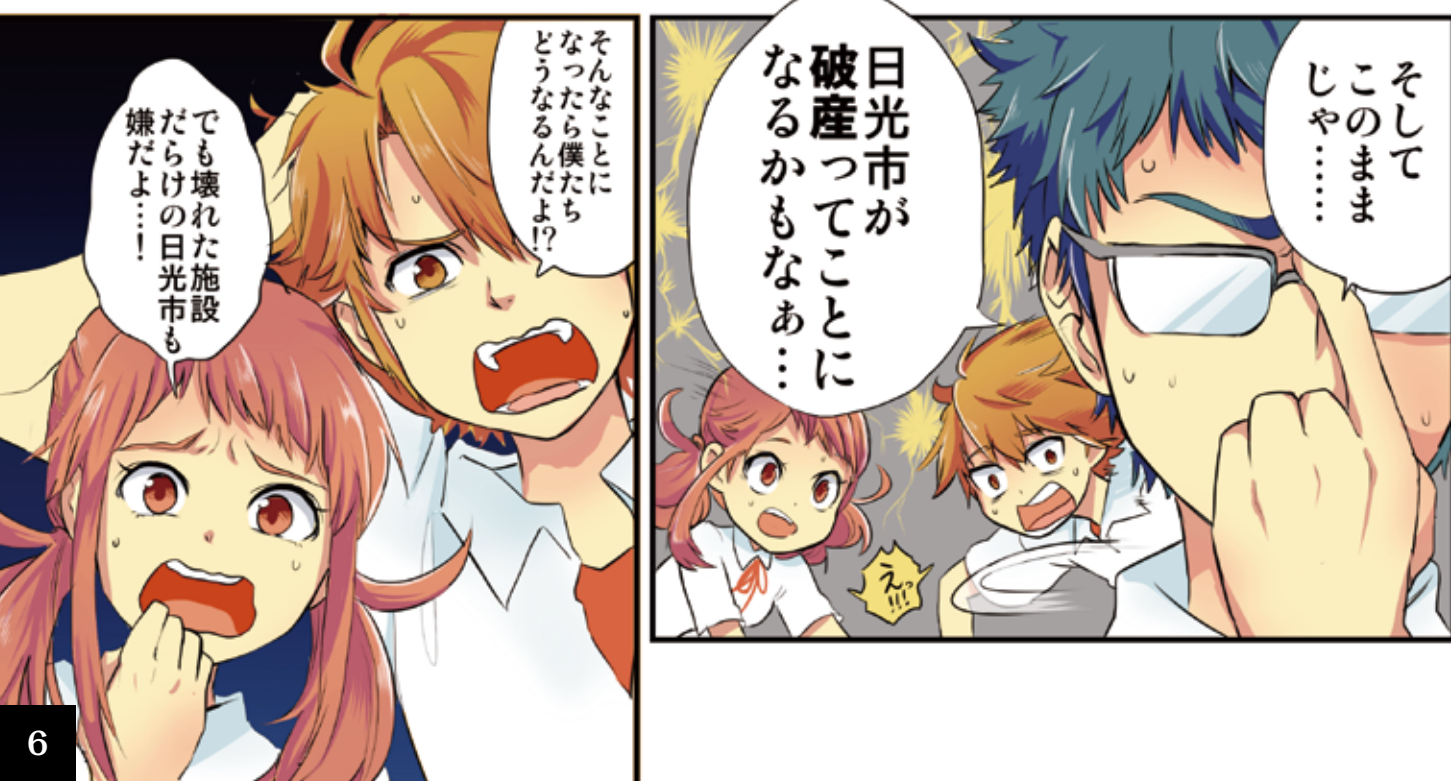
使えるお金全体が減少していくのだから・・・使い道の配分を**変えて**いくしかない。(お給料が減れば、今までと同じような生活はできない。外食を減らしたり、ゲームも買うのを諦めないと・・・)

だから、これからの40年間の公共施設の建て替え、修繕等に使える費用は→年間25.8億円程度
反対にかかる費用は→年間73.4億円

**年間
47.6億円不足**



使えるお金の不足分を施設面積に換算すると
現在ある施設の半分以上が更新できない！



市のこと
だから
自分には
関係ない
と思っただけ

日光市の公共施設は
いま働いている世代
だけじゃなく、
僕たちの世代も
負担して支えて
いけないんだね…

みんなの
施設だもの
私たちも
ちゃんと
支えなくちゃ…

施設というのは
市民みんなが
長く大切に使う
いけないものだから、

これは
ほしいよな！

どんな施設が必要か
どうしたら負担が
減らせるのか
みんな考えてね
ならないことなんだ

本当に
必要？

日光市では
何か対策とか
考えたりはしてない
んですか、先生？

ああ、市では
『日光市公共施設
マネジメント計画』
というものを
作っているそう

日光市公共施設
マネジメント
計画？

元氣や未来のような
将来の日光市を
担う世代の
負担を少しでも
減らすために
考えていることなんだ

市役所だけでなく、
市民13名の
検討委員さんも
一緒に考えて作った
計画だそうです

公共施設マネジメント計画で示す施設改善のための これからの方策

基本方針

全体目標

「次の世代の負担を減らす適正な公共施設を目指して」
(真に必要な行政サービスを見極め、真に必要な公共施設とする)

コストを圧縮する
ハコモノを減らす
サービスを最適化する

改善方針

- I 施設重視から機能重視への
転換による施設の再編
- II 施設長寿命化と安全性の確保
- III 資産マネジメントの展開による
効率的な資産管理・運営
- IV 問題意識の共有化と市民との協働

改善方針 具体的な改善の方策

I 施設重視から機能重視への転換による施設の再編

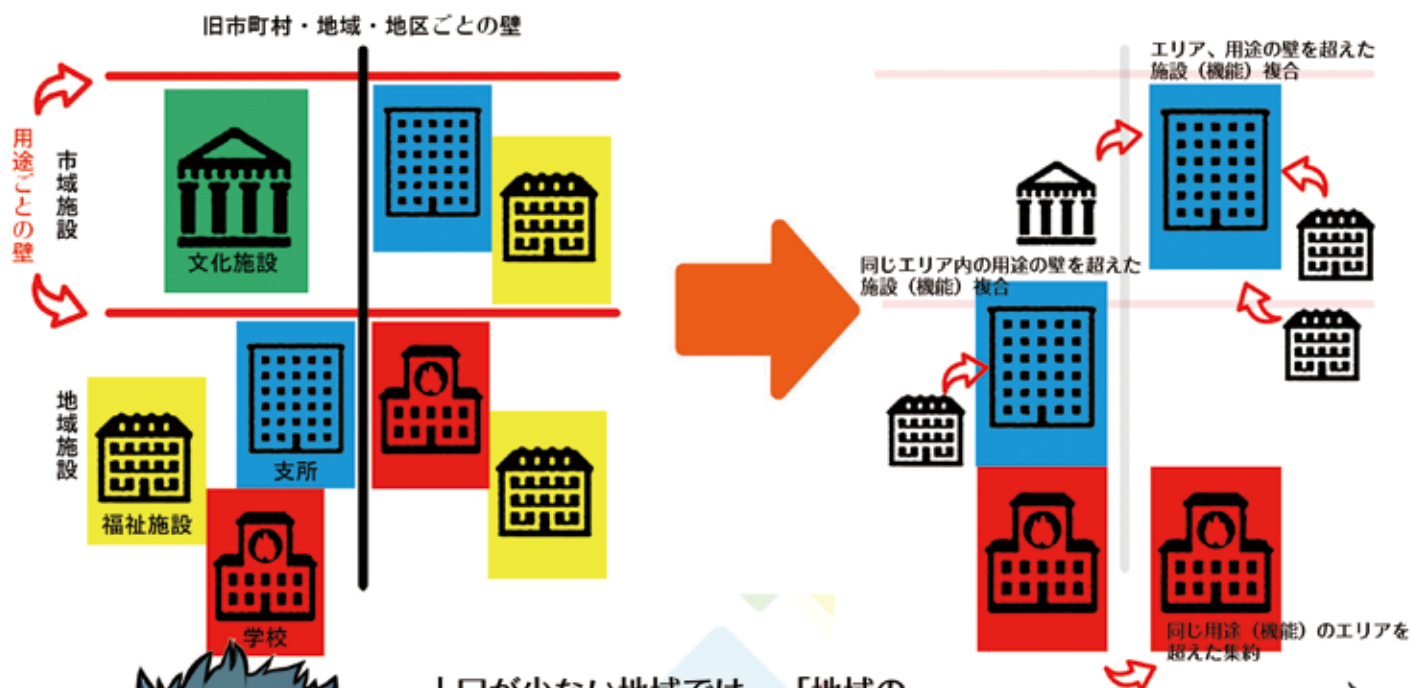
- ・施設（ハコモノ）ありきではなく、施設で提供する機能（サービス）を重視することで、本当に必要な施設か、施設がなくてはできないサービスか等を考えます。
- ・既存施設の枠組み（機能・エリア等）を超えて、重複している機能の集約や1つの施設に複数の機能をもたせる施設複合化等を進めることで、施設量の削減とともに利用者の利便性の向上を図ります。

これまで

地域・用途ごとに機能重複施設が点在

これから

再編（集約・複合化）イメージ



人口が少ない地域では、「地域の拠点となる施設」に、生活に必要な機能を残し、サービスを維持するとともに、地域の実情に配慮した施設保有や配置のあり方について考慮しながら施設再編を進めます。

II 施設長寿命化と安全性の確保

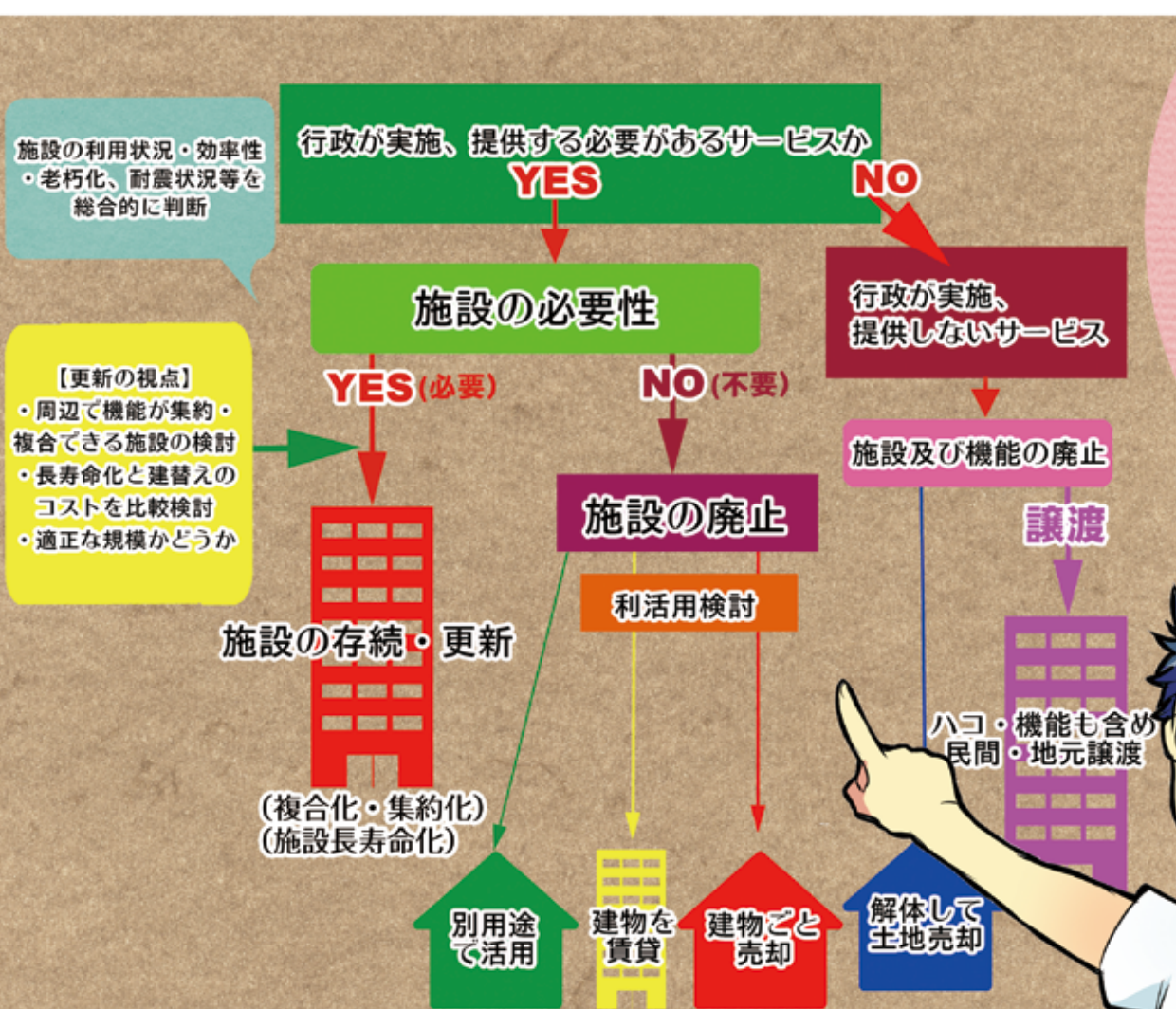
- ・施設長寿命化とは、施設がいたんだり、壊れたりしてから直すのではなく、常に施設の様子を点検して、危険なところを早めに発見して、応急処置をすることで、建物を長持ちさせて使うことです。
- ・計画的に修繕や改修を行えば、今までの60年で建替えていた施設も80年以上安全に使うことができます。また、同じ施設を長く使うことで、施設全体にかかるお金も減らすことができます。

Ⅲ資産マネジメントの展開による効率的な資産管理・運営

- ・市が保有する全ての土地・建物を資産（金銭的な価値があるもの）として捉え、有効に活用するとともに、現在利用していないまたは、施設再編によって不要となる建物や土地については、売却や民間貸付により財源の確保とともに維持管理費の圧縮に努めます。
- ・民間事業者の資金やノウハウ（技術・経験・手法等）を積極的に活用して施設の整備、更新、維持管理、運営をより効率的・効果的に行います。

Ⅳ問題意識の共有化と市民との協働

- ・公共施設適正化にあたっては、市民の皆さんへの情報提供を積極的に行うことにより、問題意識を共有しながら、市民と行政が力を合わせて適正な行政サービスの構築を目指します。



「施設複合化」とは、たとえば学校の建替えや大規模改修を行うときに、近くの公民館や保育園の機能をもたせて、まわりの複数の公共施設をいっしょにすることです。

施設を複合化することで、機能やサービスはできるだけ維持しながら、施設にかかっている維持管理費用を効果的に削減することができます。

このことで、近かった施設が遠くなったり、すこしがまんしななければならない面もありますが、施設が多機能になることで、便利になったり、サービスが向上したり、利用者間の交流が生まれるなどのメリットがあります。

施設複合化を検討する場合は、それにより生じる不便を解消するためのソフト面の対応も合わせて検討します。



改善方針の考え方を
イメージすると…

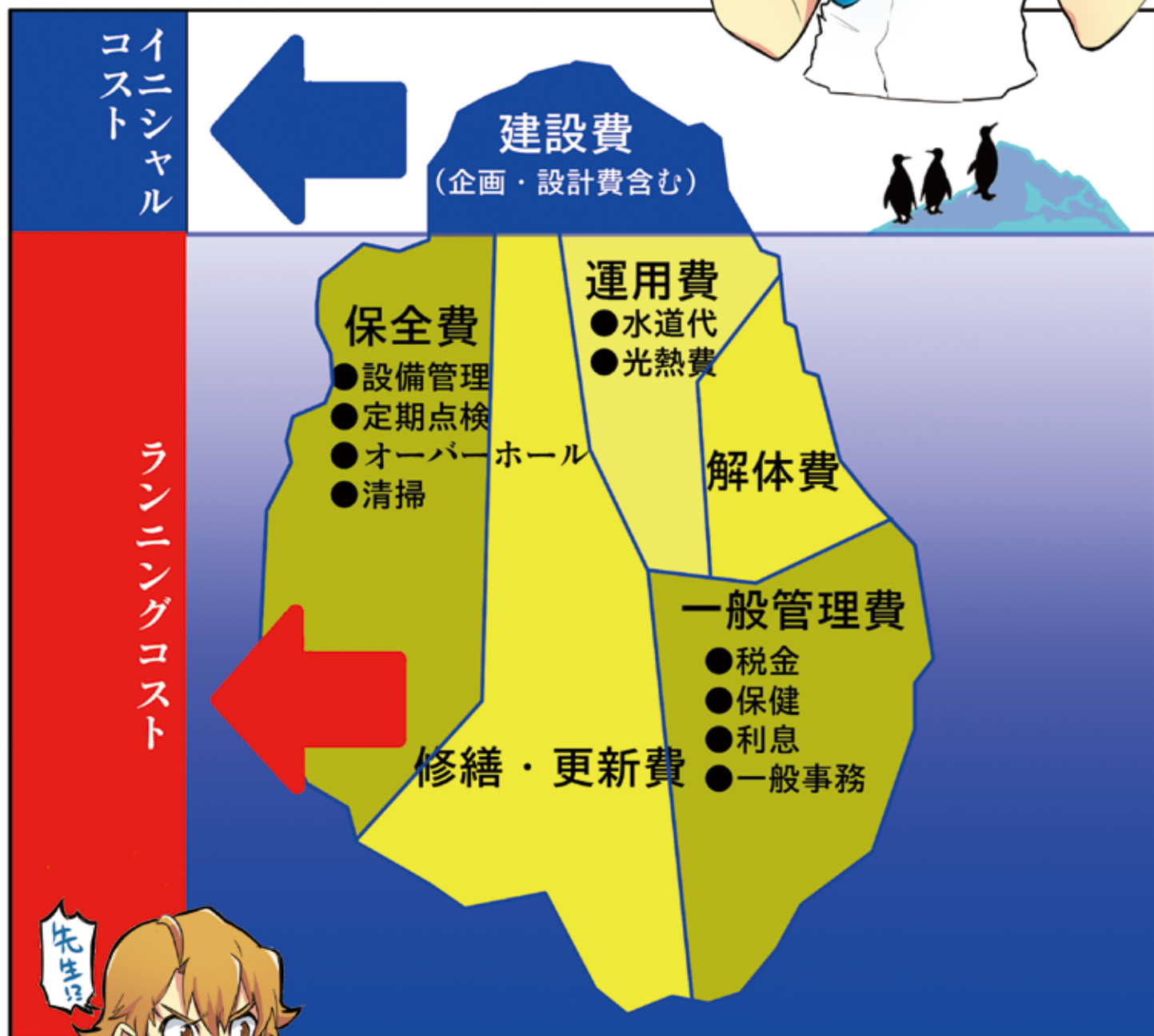
建物にかかる生涯費用（建てる時から解体するまでの費用）のことを「建物のライフサイクルコスト（略称：LCC）」と言う。

ライフサイクルコストは建物を建設するときにかかる「インシャルコスト」と建ててから施設を維持管理していくためにかかる光熱水費や修繕・改修費用などの「ランニングコスト」で構成されている。

下の図のように、ライフサイクルコストのうち、一般的に「インシャルコスト」は氷山の一角の2～3割程度で、残りのほとんどは、施設の維持管理費（＝ランニングコスト）だ。

つまり！施設をたくさんもっているということは、それだけ施設を維持していくためのたくさんのお金が必要になるということなんだ！

【建物にかかる生涯費用（LCC）のイメージ】



一般的に建物がいくらで建設されたかというインシャルコストが注目されがちですが、建設時の費用はほんの一部分で、建設した後にかかる費用の方が、大きいということです。

《施設総量「削減目標」の設定》

公共施設を維持していくためのお金が足りないということは、これまでの説明でわかったよね？
そこで、日光市では、改善方針を示した施設改善の方策（考え方）を実行し、最適な施設量にするための、削減目標を掲げ、計画的に施設を減らしていこうとしているんだよ。

- ・これから公共施設の更新（建替え・改修）に使えると想定したお金の範囲で施設の更新をしていこうとすると、現在市が持っている施設の半分以上を減らさなくてはならないことになるんだ。だけど、今ある施設の半分を無くすということは現実的に厳しいよね。
- ・そこで、削減した施設自体にかかっていた、管理運営費（光熱水費や委託費など）や施設修繕費用をこれから維持していく施設の建替えや改修に充てると想定して、更新にかかるお金と使えるお金のバランスのとれるところを計算して、32%削減することを目標としたんだ。

面積に換算すると、現在の53.6万㎡から⇒40年後には(32%削減)の36.5万㎡を目指す!

現在

40年後

32%削減

総延床面積
53.6万㎡

総延床面積
36.5万㎡

施設量を削減し、そこにかかっていた管理運営費を他の施設の建て替え・修繕に使えるお金に加算する。

公共施設を
運営するための
維持管理費に
ついてはいろいろ
考えられるからね

たとえば、使わなくなった施設を
民間の人へ
売却したり
貸し付けて収入を
得る方法もあるよ

公共施設の
使い方を考えて、
お金の面も考える
ってことですね!

必要な施設を考えて
ハコがなくても
大丈夫な施設は
早く方向性を
決めることを考える
っていうことだね

私のお父さんが
子どもの頃は
この中学校も一学年
6クラスもあつたつて
言ってたけど……
もういまは1クラス……

人数は減っても
教室の数は
変わってないもんな

今ある学校も、
他の施設も日光市の人口が
増えていく時代に
必要に応じて
建てられたものだからね

将来を考えて、
これからの日光市の
状況にあつた
適切な施設量に
していくつて
ことですね

みんなにも
考えてほしいな、
公共施設の
更新問題

ねえ、
未来
ちゃん！

今度の新聞で
『僕たちの
未来の日光市
を考えて
みよう』つて
わかりやすく
書かない？

いいね！
そうしよう
元気くん！

みんなが理解して
課題を解決するための
方法を一緒に考え
られる新聞にするぞ！

よし
頑張り
ましょう！

10年後



なつかしいな...
ここが中学校
だったなんて...

あれ?
もしかして
足川先生!?



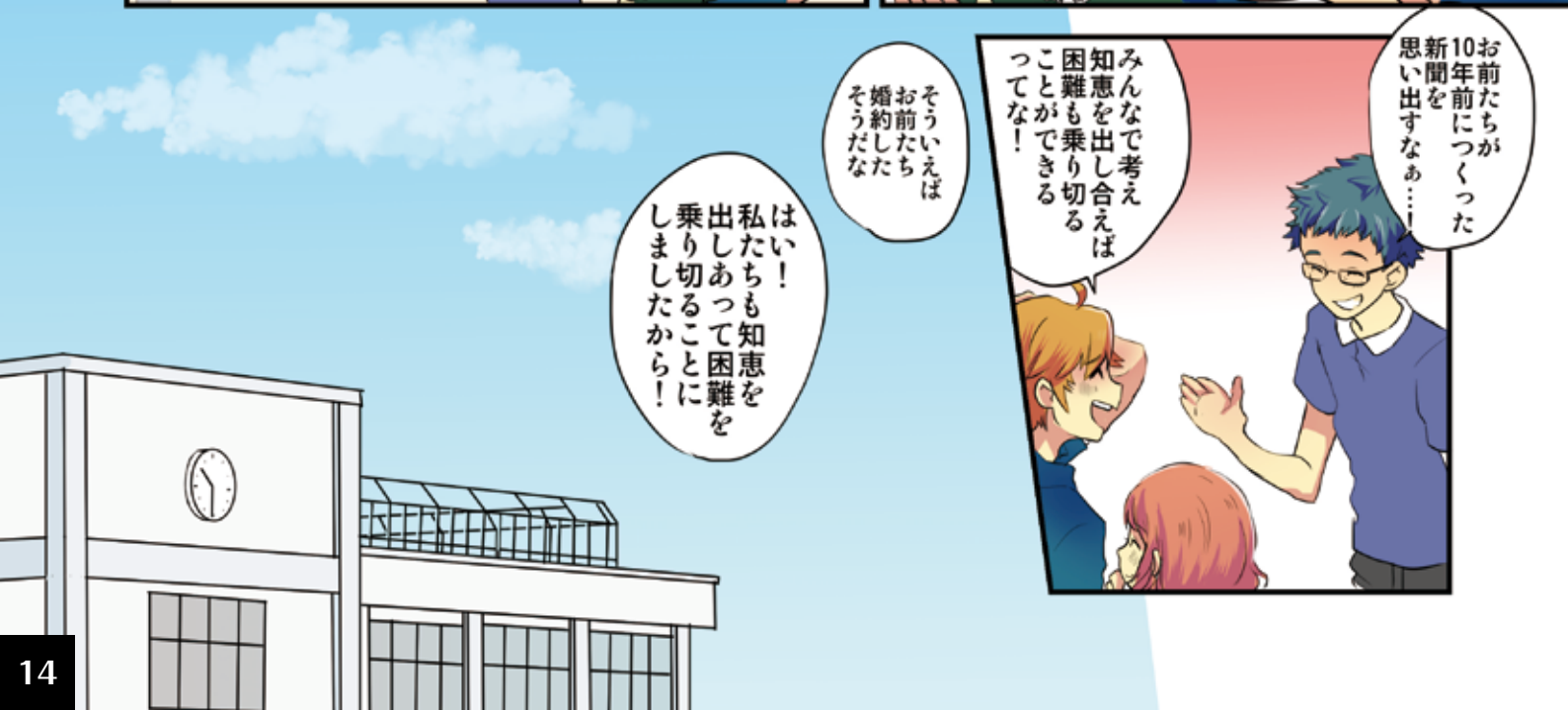
こんなに
たくさんの人
に利用して
嬉しうね

僕らの中学が
近くの小学校と
公民館、福祉施設
と一緒にやって
もう5年も
経つんですね



おお!
元氣も未来も
来てたのか!

こんにちはー



お前たちが
10年前につくった
新聞を
思い出すなあ...

みんなで考え
知恵を出し合え
困難も乗り越え
ことができる
ってな!

そういえば
お前たち
結婚した
そうだな

はい!
私たちは知恵を
出しあって困難を
乗り越えたから!

公共施設マネジメント広報用マンガ 「日光ハコモノがたり シーズン2」 公共施設の問題をみんなで知ろう! 考えよう!

平成27年8月に策定した「日光市公共施設マネジメント計画」について、市民のみなさんに広く知っていただくため、マンガ版のパンフレットを作成しました。

公共施設マネジメントに関するマンガの発行は平成25年度に発行した「日光ハコモノがたり」に続く第2弾になります。今回は、宇都宮市の文星芸術大学のご協力をいただき作成しました。

前は日光市の人口や財政の状況から見える公共施設更新に係る課題までをお知らせしたところですが、マンガ第2弾では、課題を解決するために、将来のまちづくりも見据えて、改善を図るための基本的な方針や方策についてまとめた内容となります。

公共施設の改善は、施設の統廃合による総量とコストの削減だけが目的ではありません。将来のまちづくりを視点として公共施設のあり方を考えることが重要であり、実現していくには、行政だけではなく、市民の皆さんの理解と協力が不可欠です。

このマンガをご覧いただき、これからの公共施設について、日光市の将来のまちづくりについて一緒に考えてみませんか?

公共施設の未来を考えることは
日光市のまちづくりを考えること



★「白書」、「計画書」を見たい

⇒市役所本庁舎2階の情報公開コーナー、各総合支所、支所・出張所、図書館、主要公共施設での閲覧のほか、ホームページからダウンロードも可能です。

★「マンガ版」が欲しい

⇒ホームページからダウンロード可能な他、各公共施設の窓口等で配布しています。

★公共施設マネジメントの取り組みをもっと知りたい

⇒ご要望に応じて担当職員が出向いてご説明いたします。
(出前講座や10分でハコモノがたりを実施中)
シンポジウムも開催予定です。(詳しくは今後、広報、ホームページ等でお知らせします。)

★意見を言いたい

⇒電話やファックス、e-mail等で随時受け付けています。

【発行】日光市総務部行政改革課

〒321-1292 日光市今市本町1番地 TEL:0288-25-7722 (直通) fax:0288-21-5137
e-mail: gyousei-kaikaku@city.nikko.lg.jp
URL: <http://www.city.nikko.lg.jp/gyoukaku/koukyousisetumanejimento.html>

【発行日】平成27年9月

【制作協力】文星芸術大学マンガ専攻

なばた
菜畑

けい
慧

、マンガ専攻准教授

たなか
田中

せいいち
誠一